

産業建設委員会で現地視察

地域住民との交流を通し、移住、定住の促進を図っていくことを目的として拠点施設となる空き家の古民家を活用した事例



改修された古民家外観



改修された古民家内観

こんにちは 豊前市議会です



9月定例会(9/6～9/27)主な内容

目次 CONTENTS

議案の概要	2～3P
平成29年9月定例会 議案審議結果	4P
一般質問	5～13P
トピックス・編集後記	14P

No.98
平成29年11月

議会へのご意見をお寄せ下さい

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311
ホームページ/<http://www.city.buzen.lg.jp>

議案の概要

平成29年第4回(9月)定例会は、9月6日から9月27日までの22日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より条例2件、予算2件、その他の案件11件の合わせて15議案が提出され、それぞれ所管の常任委員会で慎重に審査し、1議案は委員会修正して可決いたしました。残りの議案すべては原案どおり可決・認定されました。

常任委員会より意見書案2件、議会運営委員会より決議1件提案され、いずれも原案どおり可決されました。また、市長より同意案2件が出され、いずれも市長提案のとおり同意されました。

人権擁護委員の推薦

市長からの提案に対し、全会一致で異議なしとなりました。(敬称略)

■人権擁護委員の候補者

(任期3年)

豊前市大字市丸

種田 明乗

同意案件

市長の提案に対し、全会一致で同意しました。(敬称略)

■固定資産評価審査委員会委員

(任期3年)

豊前市大字今市

仲敷 國敏

■教育委員会委員

(任期4年)

豊前市大字四郎丸

上森 哲生

産業建設委員会から申し入れ

伊良原ダムの竣工を目前に、いま上下水道事業の経営健全化に向け真剣に取り組まなければ、豊前市の経済が危機的状況に陥ることが予想されるため、健全経営に向け、さらなる加入促進等、最大限の努力をするよう申し入れました。

豊前市に副市長を置かない条例案は、委員会修正され可決!!

9月議会において、副市長の解職について一般質問等がありました。

「副市長の解職は不祥事のためか」との問いに対する市長答弁を受け、議員より「不祥事で辞めさせたわけではないとわかり、前副市長の名誉をまず回復したい」と発言がありました。

次に、「市長は、前副市長の選任を認めてほしいと同意案を提出し、私ども議会は任期4年をもって全会一致で同意した。にもかかわらず、新聞報道前に議会に何も説明がなかった。本来なら信頼関係に基づいて報告があるべきだったのでは」という質問に、市長は「発言を控えさせていただきたい」と答弁がありました。

その次に「副市長の解職について新聞3社は7月4日付の報道であったが、1社だけ6月30日付の報道であった。その記事の中に『関係者によると、これまで市長と副市長は、意思の疎通がうまくいってなかった』と解職をリークした、この関係者がいるわけだが」と問い、市長から「直接は分からないので答弁できない」と答えがありました。それを受け、「公平公正に各報道機関に対応していただきたい」と発言がありました。

また、提案された『議案第42号豊前市に副市長を置かない条例案』は、総務委員会に付託され審査が行われ、委員より「手順をしっかり踏んで市民に迷惑が掛からない体制を作るべきであるが、全く出来ていない」や「市民の未来のために構造改革をしてもらいたいが、その姿が見えない」、「地方自治法の実例でも、任期中、または当分置く意思のない場合、とあるが期間が示されていない」、「各課業務が多岐にわたり量も多い中で調整役として、副市長が必要ではないか」、「置かない条例を廃止し、副市長が必要なので新たに置く条例を定めた自治体もあるが、本市はこのままで本当に行政運営がうまくいくのか」、「上毛町では副町長が県から派遣されたことがあるのでは」、「災害や事件、行方不明者捜索の時などやはり必要ではないか」、「財政的理由ならまず給与を減らすことから始めるべき」「解職というなら大きな理由があったはず、議会にも理由提示があってもよかったのでは」「機構改革を考えているなら同時に事務分掌条例をセットで出すべきでは」「グループ制で対応すると言うが、ただただ職員に負担を強いているだけでは」などの意見が続出しました。審議中、委員より条例案に「当分の間」を加えたらという提案がありました。そこで、後藤市長より、「期間を定めなくて条例案を提出したことを反省している」という発言があり、市長に「当分の間とは」と問うと、「私の任期中」という答弁でした。

本会議の採決前には、反対討論・賛成討論が2名ずつありました。

最終的に、市長の任期中に限るため、委員会修正により【当分の間】と期限を入れ、その修正案に対して賛成多数で可決されました。

住民の納得できる予算執行がなされたか？

平成28年度

一般会計の執行状況(決算)を2日間で慎重審査

9月定例会では、決算特別委員会が設置され一般会計の決算状況について審査を行いました。委員会は、9月19～20日の2日間にわたり開催し、平成28年度の一般会計予算が適正かつ効果的に執行されたかどうかの審査を行いました。

委員会では市側に対して多くの質問や指摘がなされましたが、主な指摘事項は次のとおりです。

決算審査における 主な指摘事項

◎学校施設整備基金積立金について

学校施設の改善、改修が進んでいない現状であるため、基金の目的、用途等を訊ね、緊急に整備すべき箇所等優先順位をつけて、この基金を活用して順次整備するよう申し入れました。

その他、予算の無駄使いにならないよう様々な指摘をしました。

決算審査に関わる 決算特別委員会が 設置されました。

メンバーは以下のとおりです。

委員長	平田 精一
副委員長	鎌田 晃二
委員	内丸 伸一
委員	秋成 英人
委員	郡司掛 八千代
委員	黒江 哲文
委員	福井 昌文
委員	古川 哲也

総務委員会の副委員長が変わりました

決算特別委員会設置において、各常任委員会、議会運営委員会の正副委員長で構成することを考え、文教厚生委員会委員長と総務委員会副委員長を兼ねている福井議員が総務委員会副委員長を辞退し、代わって内丸議員が総務委員会副委員長となりました。

総務委員会(7人)

- ◎……委員長
○……副委員長
- ◎ 平田 精一
 - 内丸 伸一
 - 秋成 英人
 - 郡司掛 八千代
 - 黒江 哲文
 - 福井 昌文
 - 磯永 優二

平成29年9月定例会 議案審議結果

「○」……………賛成 「●」……………反対
 「議長」………議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	黒江哲文	平田精一	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	古川哲也	尾澤満治	爪丸裕和	磯永優二	賛成	反対
議案第41号	豊前市職員退職手当支給条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第42号	豊前市に副市長を置かない条例の制定について	修正可決	○	●	●	○	●	○	○	退席	○	○	○	○	議長	8	3
議案第43号	豊前広域環境施設組合の解散に伴う財産処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第44号	平成29年度豊前市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第45号	平成29年度豊前市バス事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第46号	平成28年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第47号	平成28年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第48号	平成28年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第49号	平成28年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第50号	平成28年度豊前市宮駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第51号	平成28年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第52号	平成28年度豊前市工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第53号	平成28年度豊前市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第54号	平成28年度豊前市下水道事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第55号	平成28年度豊前市東部地区工業用水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
意見書案第2号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書(案)の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
意見書案第3号	道路整備事業の補助率等の高上げ措置の継続に関する意見書(案)の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
決議案第2号	北朝鮮による弾道ミサイル発射及び核開発に強く抗議する決議の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
同意案第6号	豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
同意案第7号	豊前市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無会派』の一般質問



郡司掛 八千代

【質問項目】

(郡司掛八千代議員)

- ① 豊前市の医療費と今後の取組み
- ② 指定管理者、第三セクターのあり方
- ③ 特産品の開発

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご閲覧ください。

医療費適正化のために 私たちができること

郡司掛議員 福岡県下でトップクラスの医療費である豊前市の対策について伺いたい。

市民課長 豊前市が高額の医療となっている原因として、精神関係の疾病による長期入院が多いこと、外来の受診率が高く、特に調剤の医療費が高い傾向にあることがあげられる。疾病別では、心疾患の割合が他の地域より高く、年齢別では65歳から74歳の前期高齢者の加入率が非常に高いことがあげられる。

郡司掛議員 精神疾患の患者は今後も増加傾向にあると思うので、動向を見極め各機関と連携し、しっかりと対応してほしい。次に、豊前市の医療費が高い現状であることを市民に今まで説明してきたのか。

市民課長 豊前市の医療費が高いという現状につい

ては、70歳の高齢受給者証を交付するすこやか教室の際に説明し、重複受診やジェネリック医薬品の利用など医療費適正化のお願いをしている。また、後期高齢者医療においては、保険証交付時のパンフレットや医療費通知でお知らせしている。

郡司掛議員 豊前市の国民健康保険、後期高齢者医療が上位であることの背景には、高齢化があげられると思うが、医療費が上位であるという事態や医療費の適正化がもたらすメリットを、市民のみならずへ説明することが大切だったのではないか。また、健康対策にも早めに取組むべきではなかったか。

市民課長 豊前市の医療費適正化の一つとして国民健康保険、後期高齢者医療共にジェネリック医薬品の普及促進に努めており、

ジェネリック医薬品を利用した場合の軽減について個別に金額を知らせている。また、自宅に残っている薬を薬局に持参することで、薬の飲み間違いによる健康被害を防ぎ、薬代の節約になる節薬バッグを利用した取組みもはじまっている。今後は、病気の重症化予防のため、早期発見、早期治療に向けた、健診などの受診率の向上や健康づくり教室の取組みを広げ医療費適正化のメリットを伝えていく。

郡司掛議員 節薬バッグは、投薬率の高い豊前市には良い案だと思うので、広報紙等で呼びかけを行い、ぜひ推進してほしい。

また、市民のみなさんの協力も不可欠だと思うので、あらゆるところで普及活動に努めるようお願いしたい。



節薬バッグ

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成豊明会』の一般質問



平田 精一



黒江 哲文



内丸 伸一

【質問項目】

(内丸伸一議員)

- ① 環境関連施設
- ② 豊前市のPR

(平田精一議員)

- ③ 教育問題
- ④ 森林等の環境問題
- ⑤ 迷惑施設

(黒江哲文議員)

- ⑥ 災害対策
- ⑦ 市民対応業務

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておきますので、お気軽にご閲覧ください。

豊前市のイメージ

アップを

内丸議員 どちらから？と尋ねられ、豊前市からと答えても、何県か、どこにあるのか、と聞き返されるが多々あると、市民の方からよく聞く。県内でも豊前市の認知度は大変よくないと聞くが、豊前市をPRするためにはどのような活動を行っているか現状をお聞きしたい。

内丸議員 どちらから？と尋ねられ、豊前市からと答えても、何県か、どこにあるのか、と聞き返されるが多々あると、市民の方からよく聞く。県内でも豊前市の認知度は大変よくないと聞くが、豊前市をPRするためにはどのような活動を行っているか現状をお聞きしたい。

観光物産課 昨年から今川パーキングにパンフレット等を設置し、既にPR活動を行っているが、今後、観光案内板も設置していただくようお願いしており、ほぼ話しがまとまったところだ。

内丸議員 豊前市は、税金が高い、水道代も高いなど、悪いイメージが定着しているように見えるが、まず最初にそのイメージを払拭させることが大事である。新婚家庭が豊前市にある借家に居住するとき家賃補助があるが、若い人や市外から転入して家を新築する人には、建築資金の補助や水道料金の割引などを行い、イメージアップを図ってはいかがか。

内丸議員 主に福岡市へパンフレット等を置いて、ということであるが、県内いろんな自治体があるのではそちらにも置

内丸議員 主に福岡市へパンフレット等を置いて、ということであるが、県内いろんな自治体があるのではそちらにも置

市長 いま豊前をやむなく居住の地として選ばれていない方々にどのように働きかけをしていけばよいのか、そういう情報をさらに収集しながら、受け皿づくりに取り組んでいかなければならないと思っている。

内丸議員 いずれにしても、犯罪など悪いことではなく、楽しいこと、素敵なことでも豊前市の知名度を上げるため、皆さんが力を合わせ頑張っていくことが必要不可欠ではないかと思う。是非ともよろしく願いたい。



豊前市 PR 広告塔

教育問題に関して 執行部の考えを問う

問題は取り組んでいただきたい。

次にグローバル化。前回も質問したが、日本にも100万人以上の外国人労働者が入ってきており、英語教育は、意思疎通を図るうえで大事になつてくる。地方都市は外国人と接する機会が少なくないと思うが、そういう機会を増やし、しっかりと経験をさせるような今後の計画は考えているのかお聞きしたい。

平田議員 現在、いじめ及び悲惨な自殺、登校拒否問題というのが新聞紙上をいつも賑わしている。このいじめ問題、なくなるものではないという専門家の方もいる中で、豊前市においてはどのような状況か。

学校教育課長 児童生徒の対応に関しては、学校の中で行うのはもちろんだが、それ以外にも心の相談窓口ということで、教育相談室等がある。平成12年度に開設し、市民会館の2階で臨床心理士の方に相談対応していただいている。

平田議員 しっかりと心の

の措置をとることがたびたび出てくるため、夏休みを少し短縮することを考えてみるつもりはないか、教育長にお聞きしたい。

教育長 ここ数年の間に教室の空調整備が急速に進み、夏休みを短縮するという動きがあることは知っています。本市では、時間割の工夫や規定の年間時数よりも多く授業確保できる取組みを既に行っている。ただ、新しい学習指導要領が本格実施される32年には、これまで以上の授業時数が求められるようになる。そういったことも含めて、今後の動向を見定め、適切に対応していきたいと考えている。

学校教育課長 外国語を通じて言語や文化について体験的な理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうという態度を育成することを目的とした外国語活動がある。日常生活の中で英語に触れる環境づくりをすることで、自然に英語に親しむ姿や外国の文化に目を向ける姿が見られるようになってい、と学校の報告で聞いている。

平田議員 意味が分からなくても、英語の放送を5分、10分間かせることで理解力が上がると思う。最後に、災害時に休校



平田議員 ひとつの提案というところで、検討の余地があれば検討していただきたい。

もしものときの 体制づくりを

黒江議員 いま、九州各地で災害が発生している。災害時には避難場所の対応が重要だと考える。やはり、市民が頼りにするのは公民館だと思う。そこで、公民館での自家発電の対応状況を伺いたい。

生涯学習課長 市内には中央公民館を含めて12の公民館があるが、対応できているのは、合河、角田、三毛門の3館だ。

黒江議員 停電時に炊き出し等ができるよう全館自家発電設備を検討していただきたい。そして、豊前市でも平成28年度大寒波で、水道管の破裂が発生した。その時の問題点で重要視するのは、指示系統の一本化を図るとともに個人の役割を明確にする、職員・住民に対する正確な情報提供等をするための情報調整及び情報共有体制の設置である。それに対

する改善策として具体的に何かあるか伺いたい。

上下水道課長 これまでの防災対策を見直して、上下水道課の防災計画として、寒波対策、濁水・断水対策、地震対策などに対応するためのマニュアルを策定している。

黒江議員 具体的な対策とは思えないが、やはり情報の食い違いが二次災害につながることもある。正しい情報が早く正確に伝われば多くの命が救われる。そこで、グループごとの情報ツールの構築を提案したい。このシステム導入で、災害だけでなく、豊前市の情報ツールとしての活用につなげてはいかがか。

総務課長 現在、特別防災班を編成しており、この中でグループラインを組んでいる。試行の段階ではあるが、これを今後どのよう

に活用できるか、SNSも含めて、情報伝達の確立をめざしたい。

黒江議員 漏れなくその伝達ができるのかをしっかりと協議していただきたい。しっかりと市民の生命と財産を守るためには、情報ツールが必要だと思うが、組織的なこと、指揮系統というところを踏まえて、市長の考えを伺いたい。

市長 災害はいつどこでどんなことが起きるかわからない。そういうときに、防災・減災、その対策、どう具体的に取っていくのか。IT社会でいろんな機器を上手に使うことで減災、防災、対策につながる。組織としてどう対応していくのか、そして市民と連動、協働して、どのように対処していくのか、直面した課題である。いま、勉強させていただいている。

黒江議員 是非とも、その対応を現場ですっかり協議しながら、いろいろシミュレーションし市民にしっかりと伝わるよう、問題点の改善に努めていただきたい。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成豊友会』の一般質問



磯永 優二



福井 昌文



秋成 英人



鎌田 晃二

【質問項目】

(秋成英人議員)

- ① 東京オリンピックピックに向けての取組み
- ② 築上北高跡地に建つ公共施設の管理
- ③ 主権者教育

(福井昌文議員)

- ④ 住民サービス
- ⑤ 被災地への対応
- ⑥ 安心・安全なまちづくり
- ⑦ 企業誘致

(鎌田晃二議員)

- ⑧ 市民会館とし尿処理施設
- ⑨ 公会計と固定資産台帳
- ⑩ 肝炎対策
- ⑪ マイナナンバー制度
- ⑫ 副市長の解職

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご閲覧ください。

指定管理者制度の導入の検討を

秋成議員 築上北高跡地の芝生広場は草が伸び放題、多目的センターは、生垣の植樹と雑草の区別がつかないほどであった。あまりにもみすぼらしい光景が気になり職員に指摘したところ、青豊高校の生徒が草刈りをしていた。現場を目撃した方によると、突然の依頼だったのか制服のまま職員の監視もなく、黙々と草刈りの作業をされていたらしい。ボランティアをお願いするにも、学校に依頼するとすれば正式な手続きが必要では。また、ボランティア保険の加入等が出来ていたのか不安が残る。本件について説明を求める。

生涯学習課長 ご指摘のよう伸び放題になっていたので、草刈りをするよう指示した。青豊高校の生徒が草刈りをしてたが把握していなかった。経緯を確

認し善処したい。

秋成議員 多目的センターが主に利用する駐車場が大変狭いように感じる。現在のように芝生広場が管理出来ないのであれば、駐車スペースに転換する検討も必要では。見解を伺いたい。

市長 メイン・サブ会場として行事で使用することもありますが、駐車場としてふだん使用できないか検討したい。

秋成議員 埋蔵文化財センターの来場者が少ないように感じるが、何か方策を立てているのか。

生涯学習課長 夏休みに4回子どもを対象にした体験教室、年1回企画展を開催しそれに合わせて講演会を実施し、集客に努めている。

秋成議員 埋蔵文化財センターの土日の管理体制は、市職員が不在時はガイ

ドボランティアの方だけで管理していると聞くが、来場者への説明や危機管理に問題がないのかお尋ねする。

生涯学習課長 土曜日は職員、日曜日は史跡ボランティアの会をお願いしている。何か問題が生じたら連絡が来るよう体制を整えている。

秋成議員 多目的センターのホームページは2年間更新が止まっている。神楽等で市にお客さんを呼び込もうにもこれでは何もできないのでは。すでに図書館は指定管理者に運営をお願いしている。経費削減、情報発信、管理業務の強化のためにも、多目的センター・埋蔵文化財センターの指定管理者制度の導入について考えたらどうか。

市長 多目的センターはご指摘のとおり情報発信力、管理も出来てない部分を含めて総合的に今考えている。埋蔵文化財センターは学芸員の資格を持った人の配置とか馴染まないと思うが、意見として参考にしたい。

今こそ政治生命を かけ、し尿処理施設 問題の解決を

福井議員 平成28年度の普通会計の経常収支比率は、平成になり最悪では。今のままでは来年度から、し尿処理施設の運営は豊前市単独になり、ますます財政状況が悪化すると懸念されるが、見解を伺いたい。

財政課長 このままでは難しい状況になると思う。

福井議員 今年度末には豊前広域環境施設組合が解散になり、組合職員も全員解雇されると聞いている。もし、市が単独運営するのであれば、豊前市が責任をもって雇用し運営をさせるのか、その

場合に職員等に不利益が生じないかお尋ねしたい。

生活環境課長 組合職員を雇用しなければ今の施設の運営は難しい。吉富町・上毛町と一緒にし尿処理の事業を行うことが職員等にとっても一番いい形だと思う。

福井議員 職員等の処遇の話も全く進んでないと感じる。一人ひとりに生活があり家庭がある。責任を持って対応して欲しい。次に下水投入による前処理施設への吉富町・上毛町との加入協議はうまくいってないよう思うが、期限に間に合わないのでは。

生活環境課長 時間が無い状況になっている。一刻も早く、下水投入という一番の方法と一緒にやっていただけよう調整したい。

福井議員 経費も掛かり豊前市単独では運営が難しいと感じる。既存施設と一緒に使うことが今の時間がない中、至急に決めなければならぬ事だと思ふ。最終リミットが迫っているのでは。市

長の考えを伺いたい。

市長 早急に合意し、し尿処理の公共下水への繋ぎ込み工事に着手するところが、一番負担のない事と認識しており、最善の方法を目指して頑張っている。

福井議員 4月から両町が加入し一緒にするためにも、事務処理の手続きや規約の変更など、時間の掛かることも多く残っている。早急に協議を詰めていただきたい。また、漁業振興・地域振興も大事な事であるが、十分説明をし、理解を得られたかお尋ねする。

市長 今交渉中である。理解だけでなく、協力いただけるよう努力していきたい。

福井議員 市長、時間は押し迫っている。至急、吉富町・上毛町と協定を結び、漁協・地元に了解が得られるよう最善の努力をして下さい。市長が口にする、「政治生命をかけてやる」は今ですよ。しっかり頑張っていたら、一日も早く良い答えが出ることを期待する。

任期を残し副市長の 解職は如何なものか

鎌田議員 市長は、副市長を7月14日付で解職した。新聞報道されてから様々な方から電話をいただいた。電話の内容は「副市長は何か不祥事を起こしたのですか」が殆どだった。私も新聞を見てびっくりした。7月4日付の新聞記事には、「市長は、判断を副市長に頼る職員姿勢が見え、体質改善が必要だと考えた。職員と自分との接点を多くし、風通しをよくしていきたい」と掲載されており、本議会でも同じような答弁をされた。副市長の職責は大変重要である。任期中中に解職するのであれば、それ相応の理由が必要だと思う。こういった理由でクビを切るというのは、社会常識からみればちょっと外れているのでは。副市長の名誉にも関わる事なので、そこ

で確認したいと思う。解職した理由は、市長がおっしゃるとおり、記事のとおり、「副市長が不祥事を起こしたわけではない」ということですね、市長。

市長 この4年間を見てみると、職員が最後の決断をせず、副市長に決定していただくという場面を垣間見てきた。やはり私は課長が責任を持った立場で、自分で判断する、課内でしっかり協議をする、そして一定の判断を持って何うものと思っていた。やはり組織として責任者が判断をしなければならぬ。もう一つは課と課の間に壁があると感じていた。小さなグループで連帯して協議するような組織に体質改善するには、副市長がいな

きな理由である。

鎌田議員 不祥事で辞めさせたわけではないとわかり、前副市長の名誉をまず回復したい。平成27年の6月議会の一般質問で、部長制導入について市長はどのように答弁している。「副市長の段階で各課を超えた調整を具体的に取り組んでもらっている。その機能をもっと充実させていく」と今は真逆の事を言っている。また、新聞の文面、市長の答弁を聞くと、判断を副市長に頼る職員の姿が見え、これは裏を返せば、それだけ前副市長が信頼されていたから相談に行っていたととれる。そして6月30日の新聞記事では、「関係者によると市長と副市長は意思の疎通がうまく出来てなかった」とある。これは市長が思う市政運営に、副市長が色々と意見具申する。自分の思いがなかなか達成出来ず、足かせになり任期を待たずにクビを切ったと思っていた。いま市長の本音を答弁してもらい少しは理解できた。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無党派』の一般質問



爪丸 裕和

【質問項目】

(爪丸裕和議員)

- ① 財政問題
- ② 教育問題

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

徴収率向上のため しつかり取り組みを

爪丸議員 厳しい財政状況の中、税や使用料等の徴収率の向上に向け、努力すべきと監査委員より指摘があったことを踏まえ、まずは保育料、住宅使用料の徴収方法、口座振替の割合を伺いたい。

都市住宅課長 当課では、口座振替による納付と納付書による納付を行っており、口座振替については全体の69%である。

福祉課長 現年分の保育料については、原則口座振替で納付をお願いしている。しかし残高不足等で口座振替ができない時は、督促、納付書を送付して納めてもらっている。口座振替は全体の84.2%

爪丸議員 コスト面や徴収率からみても、口座振替をしっかりと推進してほしい。次に滞納者に対してどのように取り組んでいるか。

目標を掲げてしっかりと取り組んでほしい。次に、税の徴収について伺いたい。事前の資料を見ても口座振替の件数が非常に少ない。口座振替の推進が徴収率の向上につながるのか、努力すべきだと思っがいかかか？

都市住宅課長 毎月、督促の発送、年2回定期催促の発送を行なっている。滞納が続いている方には、戸別訪問や電話による催促、納付相談を行い計画的な納付を指導している。長期的に滞納が続く場合、法的対応を強化し、住宅明け渡しの請求や財産の差押え等の実施に努めている。

福祉課長 滞納者に対して、戸別訪問や電話での督促、分納誓約等により徴収している。平成28年度より児童手当からの特別徴収が行えるようになり、現年分については保育料未納分を納めてもらっている。滞納分についても児童手当からの充当納付をお願いしている。

爪丸議員 徴収体制を強化する意味でも、収入等のある方には法的な措置をとり、未納ゼロという

爪丸議員 県や国がやるうということではなく、豊前市として徴収率向上のためにどうすべきか、しっかりと考えて取り組むべきだ。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無会派』の一般質問



為藤 直美

【質問項目】

(為藤直美議員)

- ① 人口増加の今後の方策
- ② 地方創生事業
- ③ 豊前市の情報発信

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご覧ください。

豊前市の人口増加について

為藤議員 豊前市は、平成9年、3万0066人であった人口が今年の8月末で2万6068人と20年間で4千人の人が、少なくなっている。市長の部屋では、この減少の中、1%増で人口減は食い止められる、と書いてあり、具体化する方法があるのか伺いたい。

市長 豊前市の1%というのは260人で、実は毎年減っている人口に近いものである。正式に提案することは出来ないが、行政区131の中で、地区で2人増という数字を皆さんに提示して人口増に取り組んでもらいたいと考えている。

ついて伺いたい。

生活環境課長 豊前市の空き家の状況だが、現時点で空き家の登録件数は634件あり、調査を行っており、AランクからEランクまで外観調査をやっている。Aランクが一番住める状態でEランクが一番下の危険度の高い感じに分けている。

為藤議員 今後も空き家は増えるのではないかと考えられるが、高齢者、単身者の世帯など、数字が分かれば伺いたい。

健康長寿推進課長 現在の数値で申し上げると、全世帯数1万1835世帯のうち、高齢者のみの単独世帯が2654世帯で割合が22・4%となっている。高齢者夫婦のみ世帯が1925世帯で割合が16・2%で、これを合わせると4579世帯で全体の4割弱を占めて

いる。
為藤議員 空き家対策で、豊前市に視察に来られていると聞いているが、年間、どれくらいの方がどのような趣旨で来たのか伺いたい。

総合政策課長 行政、もしくは議会の方々が年間数件の視察に来ている。空き家の状況やそれに対する対策、それと空き家バンク制度の概要、状況等についての内容を説明している。

為藤議員 空き家物件を有効に活用する為にも、新婚家庭への3年間の家賃補助の利用など、豊前市に住む事の利点をPRすることが重要だと思う。

豊前市空き家バンク登録状況
(平成29年3月31日現在)

【物件登録件数】			
売買	賃貸	両方可	計
100	60	21	181
【契約成立件数】			
売買	賃貸	計	
41	68	109	
【ホームページ掲載件数】			
売買	賃貸	両方可	計
41	1	3	45

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無会派』の一般質問



古川 哲也

【質問項目】

(古川哲也議員)

- ① 戦没者追悼式のあり方
- ② 定住自立圏
- ③ 広域圏事業
- ④ 防災無線

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておきますので、お気軽にご覧ください。

慰霊の式典等

あり方について

古川議員 6月には沖縄の終戦があり、8月6日、9日には広島・長崎の原爆投下があり、8月15日には日本の終戦記念日がある。本年度8月22日に豊前市で戦没者追悼式を行った。意義や目的を伺いたい。

福祉課長 意義は、先の大戦で亡くなられた御霊に対し、謹んで追悼の誠を捧げ、ご遺族の皆様、哀悼の意を表して、平和を願う市民の決意を表明することにより、戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に伝えることを目的として、豊前市の追悼式を開催している。

古川議員 市議会議員の先輩である渡辺氏が全国の戦没者追悼式で日本武道館において、天皇、皇后両陛下、安倍内閣総理大臣、衆参両議長の前で言葉を述べた。それにつ

いて所見を伺いたい。

市長 本日に大事な時間を与えられて、見事にその役割を果たされたと敬服をしている。

古川議員 本年度、戦没者追悼式の御案内と来場者について伺いたい。

福祉課長 今年度については、来賓には35名に御案内し、個別の通知は控えて、市報のほうで開催の御案内をしている。今年度は前年度より高齢化のためか110名で20数名減少の状況である。

古川議員 風化させないがために、PTA方、中学校の生徒を強制的では無いが、参加のお願いをするとか、そこで反省の誓いをするとか、この式典に当たって、そのような考え方で続けていくからどうかと思うが、市長の所見を伺いたい。

前市主催であるが、遺族会の皆さんにも古川議員の御意見を伝えていい方向で風化させない、大切な日を共有する、豊前市でありたいと考えている。

古川議員 次世代にこれを伝えていくのは我々の務めだと思う。教育長の所見を伺いたい。

教育長 昨今の情勢を聞いて、改めてこの平和についての学習をしっかりと行い、慰霊の式典等を行われているなら、児童代表というかたちで、何らかに関わり等が出来ないか遺族会の皆様の御意見を聞きながら、十分検討し研究していきたいと考えている。

古川議員 亡くなった方々に哀悼の意を表し、また反戦の誓いを絶対に戦争はしないということの後世に残すために、この追悼式は続けていただきたい。



一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無会派』の一般質問



岡本 清靖

【質問項目】

(岡本清靖議員)

① 防災対策

② まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

総合戦略の中の基本方針について

岡本議員 うみてらす豊前が、来客数が減少している。水産振興施設の減少の要因どうだったのか伺いたい。

農林水産課長 オープン当初から、想定以上のお客様が大勢来ていただき、食事の待ち時間や売り切れて食事ができないことが不評を買った原因の一つだ

と思う。今後は、じっくり腰を据えてお客様のニーズに合った、応えられるようなメニューなり店舗展開等、漁港のほうとも十分相談して、進めて考えていきたい。

岡本議員 森林セラピールードについて伺いたい。

観光物産課長 昨年は14回実施して229名の参加があった。セラピールードは4つあり、早ければ来年度に横武地区に1コース開設予定である。

岡本議員 合岩小がイン

グリッschussiキャンプモデル事業を掲げており、現在は、1年から6年生まで英語を習っている。これが前向きに進んでいるのか、お聞きしたい。

生涯学習課長 人材育成の中で、小学校でも英語教育という流れになって来ている。その中で、一定の空間を設定して、英語での日常生活を模範的に体験してもらおうというイメージを持っており、A・L・T、英語助手等の御協力をいただきながら、早い時期に実施できるように考えている。

岡本議員 英語の勉強を無駄にしないで、豊前市から羽ばたける人材を育てるために、やっていただきたい。

教育長 まち・ひと・しごとこの計画の中にイングリッschussiキャンプという価値のある方針が出ている。

あと、合岩小を中心に、学校で取り組んでいる英語教育と連携を図っていくことが大事だと考えている。

岡本議員 1次産業の関係で、山林資源の活用事業の中で、京築ヒノキのブランドで起ち上げる意向を伺いたい。

農林水産課長 公共施設等も積極的にそういった材を取り入れながら、モデル住宅的な役割を、今後、担っていく方向で検討したいと考えている。

岡本議員 山林資源の活用事業ということを書いてる以上、5年間でどうにか達成をしていただきたい。

市長 地元材、それも地元山でとれた、ある意味ではヒノキ材ブランド化を目指したいと思う。

岡本議員 京築地域の人の連携も重要なことだと思ってる。この地域の林業の良さを知ってもらうためにも、行政がバックアップしながらやっていただきたい。

開かれた議会を目指して

第6回 議会報告会 を開催します

市議会は、市民と議会とのつながりを深め、より一層の信頼関係を築くとともに、開かれた議会実現のため「議会報告会」を開催いたします。

議会報告会では、議会の中で審議・議論したことについての報告や市政全般あるいはそれぞれの地域が抱える課題などについて意見交換を行います。

市民の皆さんとともに市政について考え、今後の議会活動に生かしていきたいと思っていますので、皆さんのご参加をお待ちしております。

日程・時間・場所は下表のとおりです。

日 程	時 間	場 所
11月14日(火)	午後7時～	角田公民館
11月15日(水)	午後7時～	岩屋公民館
11月16日(木)	午後7時～	黒土公民館
11月17日(金)	午後7時～	中央公民館

※どの会場でもご参加できます。(議会報告会の時間は1時間30分程度です)

目安箱への投稿は我々議員に届きにくいので、議会宛への投稿もお願いします。

編集後記

豊前市も御神楽をはじめ、様々な地域のお祭り・からす天狗祭りイベントの盛んなシーズンもゆず祭り(11/26)を残し今年も終わりに近づいています。私も、市内イベントに参加しましたが、その時、常々感じることはイベントの実行委員の地域愛と情熱であります。私は、「豊前市の財産は人だな」と毎回感動しています。

豊前市も人口減少・財政の悪化を懸念し対策を試行錯誤している現状であります。その対策の1つとして、行政も「市民協働のまちづくり」を打ち出していますが理想であっても現実には課題が山積みで中々容易ではありません。やはり豊前市が掲げた市民協働のまちづくりの実現を目指すなら市民生活の現場の声、又、市民の掲げた政策を如何に吸い上げるかが重要だと考えます。

今、地域の活性化を図るには「地域でできることは地域で」「活性化の提案は現場から」というように(人)の力を最大限に引き出すような仕組み作りが必要だと思います。そこで、議会としても豊前市民が更に暮らしやすいまちになるよう努力する所存であります。最後に11月14日、15日、16日、17日に議会報告会を行います。是非、参加していただき「現場の声」「提案の声」をお寄せいただくようお願い致します。

黒江 哲文

次回の定例市議会は
12月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

- 編集 編集委員会
委員長：黒江哲文
副委員長：郡司掛八千代
委員：内丸伸一 秋成英人
古川哲也

- 印刷 築上印刷有限会社